

# 令和6年度学校自己評価システムシート (県立上尾南高等学校)

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 目指す学校像 | 自分らしく未来に生きる力を育てる 一人一人が輝く学校 |
|--------|----------------------------|

|      |  |
|------|--|
| 重点目標 | 1 授業や探究的な学びを通じて、生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる<br>2 キャリア探究活動を通して、生徒の個性や可能性を伸ばし、主体的な進路実現を支援する<br>3 生徒一人一人が役割や居場所を実感できる機会を提供し、達成感や充実感を自信と誇りにつなげる<br>4 教職員が責任と誇りをもち、保護者、地域と共に学校の魅力化を進める |
|------|--|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |   |
|-----|----------|---|
| 出席者 | 学校関係者    | 名 |
|     | 生徒       | 名 |
|     | 事務局(教職員) | 名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |   |   |  |   |           |     |             |
|-------------|---|---|--|---|-----------|-----|-------------|
| 年 度 目 標     |   |   |  | 年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )   |           |     |             |
| 番号          | 現状と課題   | 評価項目  | 具体的方策  | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1           | (現状)<br>・朝活、少人数学級編制、習熟度別少人数授業(英数)等で学習習慣の定着と基礎学力向上を図っている。<br>・昨年度から1人1台端末を使った授業を実施し、ICTを活用した授業改善を推進している。<br>(課題)<br>・自発的に学習する生徒が少ないため、自主的な学習習慣を身に付けさせる仕組みの整備が課題である。<br>・基礎学力を向上させる取組の成果が出ていない教科もあり、きめ細かな学習指導が必要である。          | ○学習習慣の定着と基礎学力の向上<br><br>○ICTを効果的に活用した指導法の研究と組織的な学習支援体制の充実     | ①朝活の運用の工夫、授業改善等主体的・対話的で深い学びを実現し学習習慣の定着を図る。<br>②キャリアパスポートを活用し、自らの学習状況を把握させる。<br>③探究活動、検定試験の推奨、模擬試験の活用で、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。                   | ①学校評価アンケート「予習・復習をしている。」50%以上。<br>②キャリアパスポートへの記録(通年)と学期毎に振り返りを実施。<br>③探究発表会の実施し、検定試験の受検者増を図り、模擬試験の結果を昨年より向上させ、経年変化を分析。                             |           |     |             |
| 2           | (現状)<br>・生徒一人一人の適切な進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を行っている。<br>・多くの生徒が学校推薦型や総合型選抜入試で進路を決定している。<br>(課題)<br>・生徒や保護者へ適切な情報提供。<br>・進路希望を実現させるためキャリア教育の充実で進路意識の向上を図り、個に応じた指導が必要である。   | ○生徒一人一人の進路希望の実現に向けた計画的・組織的な進路指導                               | ①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。<br>②公募推薦入試・総合型選抜入試で合格できる力をつける学力向上講座を実施する。<br>③多様な受験形態に応じた柔軟な進路指導(小論文指導・面接指導等)を実施する。<br>④就職希望者に対して、企業研究・面接指導を実施する。 | ①進路未決定者数を0に近づける。<br>②毎学期中・長期休業中の学力向上講座の実施。大学短大の現役進学者数の増加。(R5 83人)<br>③学校評価アンケート「進路指導に満足している。」90%以上。<br>④就職希望者の内定率100%。                            |           |     |             |
| 3           | (現状)<br>・全職員の共通理解のもとで、生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整え、地域から生徒指導ができて学校という評価を得ている。<br>・中高連携や部活動体験等で生徒が活躍している。<br>(課題)<br>・生徒が充実した学校生活を送れるよう規律の徹底と多様な生徒に対する継続的な生徒指導を行う。<br>・生徒会や部活動への加入生徒が減少傾向にある。学校行事等で活躍できる場面を増やし、リーダーシップや自己有用感の育成が課題である。 | ○きめ細かく丁寧な生徒指導の実践による基本的な生活習慣の確立<br><br>○生徒の主体的な活動の支援による部活動の活性化 | ①生徒会の挨拶運動と日頃の生活指導により、挨拶の励行。<br>②学期ごとの整容指導で身だしなみが整った学校生活の実現。<br>③学期ごとの校外交通安全立哨指導、自転車安全運転講習会等の実施で交通安全マナーの徹底と事故防止。                              | ①学校評価アンケート「挨拶がきちんとできている。」90%以上。<br>②学校評価アンケート「服装や頭髪について規則を守っている。」90%以上。<br>③学校評価アンケート「自転車のマナーを守り、交通安全を守っている。」100%。                                |           |     |             |
| 4           | (現状)<br>・計画的な生徒募集活動で、学校説明会等の参加者を増加させている。<br>・HPやメール配信等により、地域・保護者に学校の魅力の情報発信を行っている。<br>(課題)<br>・地域の教育機関、自治体、企業等との連携をいっそう推進していくことが必要である。  | ○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進                                    | ①オープンスクール、学校説明会等により魅力ある学校のPR。<br>②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。<br>③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。   | ①学校説明会参加者数の延べ2300名以上。(R5 2312名)<br>②HPトップページの更新回数を年間70回以上、HPのアクセス数月平均30,000回以上。<br>③上尾市内中学校との授業交流や上尾特別支援学校と上尾南分校との交流の実施、地域との連携事業の実施やボランティア活動への参加。 |           |     |             |

|                   |
|-------------------|
| 学校関係者評価           |
| 開催実施日 令和6年2月2日    |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
|                   |
|                   |
|                   |
|                   |